



# 栃木県内市町の外国人住民数データ

下記のデータは、県内25市町に在住している外国人の国籍上位のデータです(平成25年12月末日現在)。自分の住んでいる地域にどのような外国人が住んでいるのかを事前を知っておくと、災害時にどのような外国人支援が必要かが見えてきます。

宇都宮市		
国名	人数	
1 中国	2,573	
2 韓国・朝鮮	1,085	
3 タイ	672	
4 フィリピン	564	
5 ブラジル	497	
6 台湾	464	
7 ベトナム	281	
8 ベルー	212	
9 米国	158	
10 ネパール	100	
その他	566	
合計	7,172	

足利市		
国名	人数	
1 中国	833	
2 フィリピン	452	
3 ブラジル	391	
4 ベルー	359	
5 韓国・朝鮮	204	
6 スリランカ	190	
7 ベトナム	133	
8 バングラデシュ	109	
9 パキスタン	69	
10 ネパール	61	
その他	376	
合計	3,177	

栃木市		
国名	人数	
1 ベルー	423	
2 中国	370	
3 フィリピン	370	
4 ネパール	333	
5 韓国・朝鮮	93	
6 ブラジル	83	
7 タイ	82	
8 スリランカ	71	
9 パキスタン	64	
10 ミャンマー	63	
その他	285	
合計	2,237	

佐野市		
国名	人数	
1 中国	416	
2 フィリピン	320	
3 ベルー	251	
4 ブラジル	226	
5 ホリビア	166	
6 韓国・朝鮮	106	
7 インドネシア	80	
8 ベトナム	50	
9 パキスタン	44	
10 米国	43	
その他	297	
合計	1,999	

鹿沼市		
国名	人数	
1 中国	270	
2 ベトナム	228	
3 ブラジル	108	
4 フィリピン	86	
5 ベルー	67	
6 韓国・朝鮮	48	
7 タイ	27	
8 台湾	18	
9 パキスタン	18	
10 バングラデシュ	14	
その他	76	
合計	960	

日光市		
国名	人数	
1 フィリピン	130	
2 中国	119	
3 韓国・朝鮮	77	
4 ブラジル	72	
5 タイ	33	
6 米国	20	
7 台湾	18	
8 インドネシア	17	
9 ベトナム	16	
10 バングラデシュ	13	
その他	39	
合計	554	

小山市		
国名	人数	
1 ブラジル	1,043	
2 ベルー	843	
3 中国	668	
4 韓国・朝鮮	570	
5 フィリピン	528	
6 ネパール	191	
7 タイ	174	
8 パキスタン	132	
9 ベトナム	110	
10 インド	83	
その他	399	
合計	4,741	

真岡市		
国名	人数	
1 ブラジル	891	
2 ベルー	740	
3 フィリピン	440	
4 中国	326	
5 タイ	152	
6 ホリビア	77	
7 ベトナム	68	
8 韓国・朝鮮	66	
9 台湾	31	
10 パキスタン	31	
その他	126	
合計	2,948	

大田原市		
国名	人数	
1 ブラジル	443	
2 中国	188	
3 フィリピン	145	
4 ベルー	57	
5 韓国・朝鮮	54	
6 タイ	42	
7 パキスタン	23	
8 台湾	21	
9 米国	16	
10 ベトナム	14	
その他	47	
合計	1,050	

矢板市		
国名	人数	
1 中国	90	
2 ベルー	55	
3 フィリピン	34	
4 ベトナム	34	
5 韓国・朝鮮	20	
6 タイ	17	
7 ブラジル	16	
8 台湾	8	
9 米国	6	
その他	18	
合計	298	

那須塩原市		
国名	人数	
1 ブラジル	433	
2 中国	350	
3 フィリピン	345	
4 タイ	131	
5 韓国・朝鮮	120	
6 インド	107	
7 ベルー	84	
8 台湾	33	
9 インドネシア	21	
10 米国	18	
その他	102	
合計	1,744	

さくら市		
国名	人数	
1 中国	85	
2 フィリピン	45	
3 タイ	20	
4 ベトナム	19	
5 ベルー	17	
6 韓国・朝鮮	14	
7 パキスタン	11	
8 インド	8	
9 米国	8	
10 ブラジル	5	
その他	19	
合計	251	

那須烏山市		
国名	人数	
1 中国	87	
2 ベトナム	69	
3 インドネシア	36	
4 フィリピン	16	
5 タイ	15	
6 韓国・朝鮮	10	
7 パキスタン	9	
8 台湾	6	
その他	16	
合計	264	

下野市		
国名	人数	
1 中国	112	
2 韓国・朝鮮	70	
3 フィリピン	33	
4 インドネシア	27	
5 タイ	25	
6 台湾	18	
7 モンゴル	16	
8 ブラジル	16	
9 パキスタン	14	
10 ベトナム	12	
その他	55	
合計	398	

上三川町		
国名	人数	
1 中国	95	
2 タイ	48	
3 ブラジル	35	
4 ベトナム	30	
5 フィリピン	28	
6 韓国・朝鮮	18	
7 ベルー	11	
8 台湾	8	
9 米国	7	
10 ホリビア	5	
その他	23	
合計	308	

益子町		
国名	人数	
1 タイ	40	
2 中国	28	
3 ブラジル	20	
4 フィリピン	17	
5 インドネシア	15	
6 韓国・朝鮮	13	
7 台湾	9	
8 ベルー	9	
9 エストニア	6	
10 バングラデシュ	5	
その他	18	
合計	180	

茂木町		
国名	人数	
1 ベトナム	16	
2 中国	10	
3 フィリピン	8	
4 韓国・朝鮮	7	
5 タイ	7	
6 ブラジル	5	
その他	7	
合計	60	

市貝町		
国名	人数	
1 中国	65	
2 ブラジル	23	
3 タイ	20	
4 フィリピン	13	
5 ベルー	10	
6 韓国・朝鮮	5	
その他	16	
合計	152	

芳賀町		
国名	人数	
1 ブラジル	31	
2 中国	27	
3 フィリピン	19	
4 タイ	18	
5 ベトナム	10	
6 韓国・朝鮮	7	
7 ベルー	5	
その他	6	
合計	123	

壬生町		
国名	人数	
1 中国	79	
2 ベトナム	47	
3 韓国・朝鮮	38	
4 フィリピン	30	
5 ブラジル	26	
6 台湾	22	
7 パキスタン	22	
8 ベルー	21	
9 トルコ	13	
10 イラン	5	
その他	39	
合計	342	

野木町		
国名	人数	
1 ブラジル	77	
2 中国	32	
3 韓国・朝鮮	30	
4 ベルー	20	
5 フィリピン	19	
6 タイ	9	
7 ネパール	6	
8 マレーシア	5	
その他	23	
合計	221	

塩谷町		
国名	人数	
1 中国	33	
2 フィリピン	14	
その他	15	
合計	62	

高根沢町		
国名	人数	
1 中国	113	
2 タイ	44	
3 ベトナム	37	
4 韓国・朝鮮	33	
5 フィリピン	24	
6 スリランカ	8	
7 ベルー	8	
8 台湾	7	
9 ブラジル	7	
10 米国	6	
その他	33	
合計	320	

那須町		
国名	人数	
1 中国	63	
2 フィリピン	37	
3 韓国・朝鮮	30	
4 ベトナム	19	
5 タイ	16	
6 台湾	7	
7 米国	6	
その他	25	
合計	203	

那珂川町		
国名	人数	
1 中国	40	
2 フィリピン	26	
3 ホリビア	10	
その他	18	
合計	94	

行政担当者、避難所を運営する方、国際交流活動をしている方、災害支援に携わる方へ

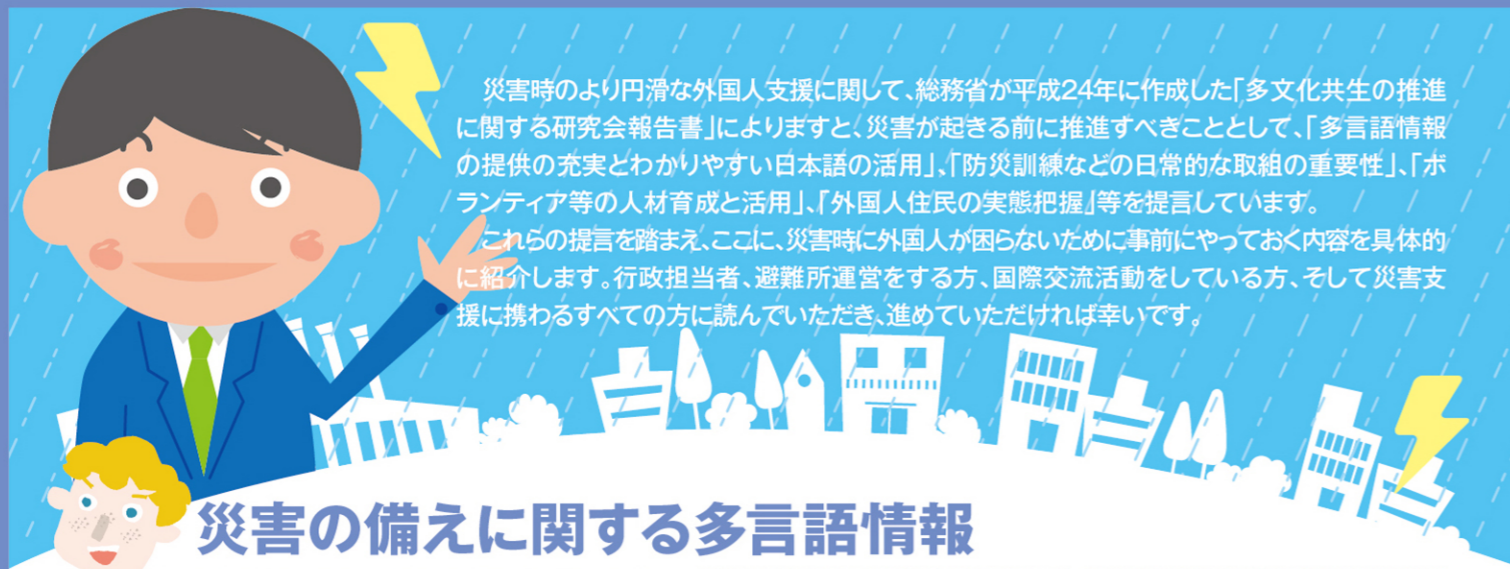
# 災害に強い とちぎづくりを目指して

災害時に外国人住民が困らないための事前準備について



外国人には、地震などの災害に対する経験がないことや、地震が発生した場合の対処方法や避難所の存在や機能など日本人であれば誰でも知っていると思われる知識が備わっていないことが多く見受けられ、災害時に想像以上の不安を抱くことが予想されます。また日本語があまりできないため災害時に発せられる行政情報等が理解できず、必要な支援が得られない場合もあります。

このパンフレットは、災害時に外国人住民が困らないようにするために私たちが事前にやっておくことを紹介しています。外国人への防災意識の啓発をとおして、多文化共生社会の地域づくりを推進しましょう!



災害時のより円滑な外国人支援に関して、総務省が平成24年に作成した「多文化共生の推進に関する研究会報告書」により、災害が起きる前に推進すべきこととして、「多言語情報の提供の充実とわかりやすい日本語の活用」、「防災訓練などの日常的な取組の重要性」、「ボランティア等の人材育成と活用」、「外国人住民の実態把握」等を提言しています。

これらの提言を踏まえ、ここに、災害時に外国人が困らないために事前にやっておく内容を具体的に紹介します。行政担当者、避難所運営をする方、国際交流活動をしている方、そして災害支援に携わるすべての方に読んでいただき、進めていただければ幸いです。

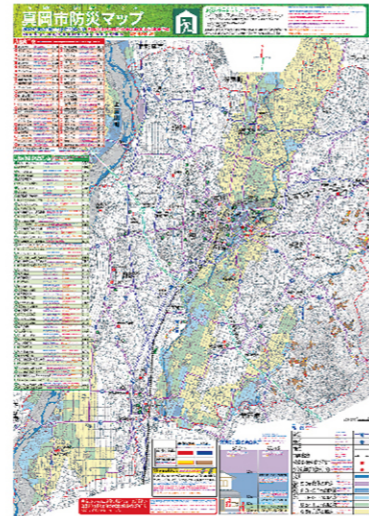
## 災害の備えに関する多言語情報

地震などの災害を体験したことがない外国人は、災害が発生したときにどのように対処したらよいか分からない場合があります。

日頃から災害にどのように備えるか、地震が起こったときにどのような行動をするか、どこに避難したらよいかなど、事前に知っていれば、外国人もいざというときに冷静に対応できると思われまます。

地震の際の行動、避難所の場所、非常時の持ち出しリスト、備蓄品リスト、緊急時の通報先、氏名・国籍・連絡先等の家族データ記入表など、災害の備えに関する情報を「多言語」で作成し、外国人住民に配布し覚えていただきましょう。

また、携帯メールや、FacebookなどのSNSを活用して多言語で情報を配信する方法もあります。事前に登録していただくことで、携帯電話やスマートフォンで情報をいち早く入手できるので、大変有効な情報伝達方法です。平常時には防災情報を、災害時には災害情報を提供しましょう。



真岡市で発行された多言語(英語、スペイン語、ポルトガル語、中国語)による防災マップ。防災マップの他、わが家の防災メモ、非常持ち出し品、避難時の心得、緊急時の通報先などの内容が記載されている。  
※ダウンロード <http://www.city.moka.tochigi.jp/7.3852.13.95.html>

## 外国人にわかりやすい「やさしい日本語」

**25 避難所で**  
大きな地震があったので、グエンさんは避難所に行くことにしました。...

(やさしい日本語)  
グエン: この辺はどこですか。  
グレン: はい、賑やかなところです。  
グエン: ここで避難して、荷物をここに置くようにしてください。また、貴重品は預けてください。  
グレン: トイレはどこですか。  
グエン: あのドアの奥です。  
グレン: 水が飲めません。飲み物の場所がありません。  
グレン: 荷物のラベルを貼って来てください。それから、トイレのあとには洗ってください。  
グエン: あー、大変です。  
グレン: 食料は提供されていますので、こちらに来てください。  
グエン: はい。  
グレン: 荷物が多すぎたら、私と一緒に運んでください。

(やさしい日本語)  
グエン: はい、ありがとうございます。  
グレン: はい、ありがとうございます。  
グエン: はい、ありがとうございます。  
グレン: はい、ありがとうございます。  
グエン: はい、ありがとうございます。  
グレン: はい、ありがとうございます。  
グエン: はい、ありがとうございます。  
グレン: はい、ありがとうございます。

**ワンポイントアドバイス (1)**  
★できるだけ早く避難所へ来ましょう。  
「この辺は」→「どこで」、「お話を」→「で」、「お話を」→「で」、「お話を」→「で」  
「お話を」→「お話を」、「お話を」→「お話を」、「お話を」→「お話を」  
★避難所の場所は「お話を」→「お話を」、「お話を」→「お話を」、「お話を」→「お話を」

**ワンポイントアドバイス (2)**  
★「お話を」は「お話を」、「お話を」→「お話を」、「お話を」→「お話を」  
★避難所の場所は「お話を」→「お話を」、「お話を」→「お話を」、「お話を」→「お話を」

日常生活や公共の場などで話される会話をやさしい日本語で紹介した冊子(作成: 栃木県・公益財団法人栃木県国際交流協会)  
※ダウンロード <http://tia21.or.jp/parts/files/yasashi-nihongo.pdf>

文字と文字の間を空けて書く「わかち書き」で書き換えています。

「やさしい日本語」とは、日本語があまり得意でない外国人に、わかりやすく話したり、書いたりできるように工夫した日本語のことです。  
栃木県内には100か国以上の外国籍の方が暮らしていますが、これらすべての国の言語を話すことは難しいでしょう。そこで共通するコミュニケーション手段として有効なものが「やさしい日本語」です。  
災害時における行政情報等は難しいため、外国人にはよくわかりません。「やさしい日本語」でも発信できるようにしておくことが大切です。

**「やさしい日本語」への書き換え例**

通常の日本語: 今朝6時5分頃、関東地方で強い地震がありました。気象庁は、今後も余震のおそれがあるとして、十分な警戒を呼びかけています。

やさしい日本語: きょう 今朝 6時5分 関東地方で 大きい 地震が ありました。このあと 余震(あと) から くる 地震に 注意して ください。

## 避難所に多言語表示シートの掲示

避難所の役割についてよく知らない外国人は、「外国人は避難所に入ることができるのか」などと思ってしまい、避難所に行くことをためらってしまうことがあります。

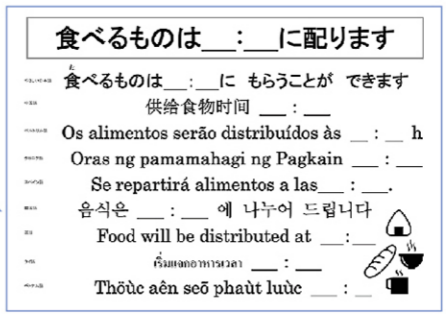
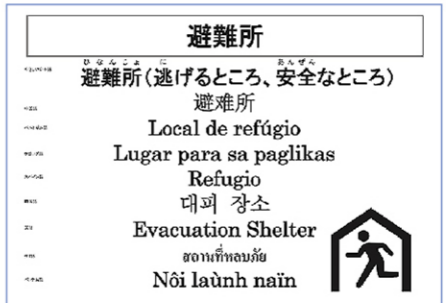
そこで、避難所開設時に避難所用の多言語表示シート(下記のアドレスからダウンロードできます)を貼っていただくことで、外国人は安心して避難所へ入ることができ、また避難所生活が容易になります。

また日本人にとっても、多言語表示シートを見れば「この避難所には外国人も避難しているのかもしれない」と理解していただけます。

避難所を管理する方は、災害時には外国人が避難してくることがあることを理解していただき、避難所開設時には積極的に「多言語表示シート」を掲示してくださるようお願いいたします。

※ダウンロード <http://tia21.or.jp/parts/files/tagengohyoujisheet50.pdf>

避難所に貼り出す多言語表示シート。やさしい日本語、中国語、ポルトガル語、タガログ語、スペイン語、韓国・朝鮮語、英語、タイ語、ベトナム語で表記されている。



## 外国人も一緒に避難訓練・防災訓練

日本では、学校や地域で行われる避難訓練や防災訓練をとおして、子どもの頃から災害が起きたときにどのような行動を取るべきかを学びます。

一方、災害が少ない国で育った外国人は、避難訓練や防災訓練などを体験したことがないため、災害時の対処方法がわからない場合があります。

自治会など地域で実施する避難訓練や防災訓練に、外国人住民も一緒に参加していただき、同じ地域住民の一人としてどのように行動したらよいかを知っていただくことが大切です。このような訓練をとおして、日本人と外国人がお互いよく知り合うことができます。

災害時に適切に行動するために、日頃から顔の見える関係を作っておくことが必要です。

宇都宮市清原地区で日本人住民と外国人住民が一緒になって防災訓練を実施(写真提供: 清原地区国際交流会)



## 災害時における外国人支援ボランティアの育成

東日本大震災では、栃木県も広範囲にわたり被災し、多くの県民が災害の恐ろしさを体験しました。そして災害に関する情報がいかに大切であるかを実感しました。

より多くの外国人に的確・迅速に多言語で災害情報を提供したり、災害に遭い不安になっている外国人の心のケアをするためには、語学ができる方はもちろん、日頃から国際交流や国際理解を進めている日本人と外国人が協力して対処することが必要です。

災害時における外国人支援の意義や災害に関する行政情報の翻訳・通訳技術を学んでいただくセミナーを各地域で開催し、災害時に外国人を支援するボランティアを育成しましょう。

災害時の外国人支援ボランティアを育成するセミナーで「模擬避難所における通訳訓練」を行う参加者(主催: 公益財団法人栃木県国際交流協会)



**役に立つホームページアドレス**

- 公益財団法人栃木県国際交流協会(TIA) 外国人向け防災情報 / <http://tia21.or.jp/disaster.html>
- かながわ・こみゆにいてい・ねっとわーく・さいと やさしい日本語 / <http://www.kifjp.org/kcns/yasashii/>